

令和 3 年 度
事業報告書



3月末、久しぶりの屋外行事となりました。

社会福祉法人 徳成会
特別養護老人ホーム 悠樂園

令和3年度事業報告書目次

I、法人及び施設の沿革	1
II、概要	3
III、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況	
1、月別利用状況	5
2、男女別要介護度の状況	6
3、年齢別状況	6
4、市町村別利用者の状況	7
5、入院、退院の状況	8
6、面会の状況	8
7、日課	9
8、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容	10
9、給食の状況、栄養管理の状況	
1)委託給食会社について	13
2)衛生管理	13
3)食事内容について	13
4)個別対応食の状況	14
5)食事サービスの充実	15
6)栄養管理の状況	16
IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス	
1、平成27年から令和4年3月までの在宅サービス利用状況	17
2、短期入所生活介護	
1)短期入所生活介護利用状況(市町村別)	18
2)短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別)	18

3)短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別)	18
3、令和3年度空床型特養の利用状況	19
4、通所介護	
1)通所介護利用状況(市町村別)	20
2)通所介護月別利用者数(要介護度別)	20
3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)	20
4)通所介護日課表	21
5)年間行事	21
5、居宅介護支援事業	22
6、給食サービス	23
7、生活支援ハウス	
1)利用状況	24
2)年間行事	24
3)建物、設備の保守、修理	24
V、令和3年度実施事業	25
VI、新型コロナウイルス感染症に関して	29

I、法人及び施設の沿革

社会福祉法人 徳成会

奈良県宇陀市榛原檜牧584番地

敷地面積 10,079.54 m²

建物延面積 2,762.57 m²

特別養護老人ホーム 悠楽園

定員50名

悠楽園 生活支援ハウス

定員10名

居宅介護サービス事業

短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護 定員6名

通所介護、第1号通所介護 定員20名

居宅介護支援事業

配食サービス

平成元年7月15日

社会福祉法人 徳成会 設立許可（奈良県指令高福第85号）

平成元年7月18日

社会福祉法人 徳成会 設立登記

平成元年6月24日

特別養護老人ホーム 悠楽園 着工

平成2年3月31日

特別養護老人ホーム 悠楽園 竣工

平成2年5月1日

特別養護老人ホーム 悠楽園 事業開始

平成5年6月

通所入浴サービス事業開始

平成8年4月

給食サービス事業開始

平成8年8月

地域交流ホーム 着工

平成9年3月

地域交流ホーム 竣工

平成11年9月

短期入所生活介護の定員を4名から6名に増員

平成11年10月

居宅介護支援事業開始

平成11年10月

通所入浴サービス事業廃止

平成11年10月

通所介護（デイサービス・サテライト型）事業開始

平成12年1月

訪問介護（ホームヘルプ）事業開始

平成 12 年 5 月	給食サービスの配達開始
平成 12 年 11 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター着工
平成 13 年 8 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター竣工
名称を「悠楽園デイサービスセンター、悠楽園訪問介護ステーション、及び、悠楽園生活支援ハウス」と決定	
平成 13 年 8 月	デイサービス・サテライト型廃止
平成 13 年 8 月	悠楽園デイサービスセンター（老人デイサービスセンター）事業開始
平成 13 年 10 月	悠楽園生活支援ハウス事業開始
平成 14 年 1 月	社会福祉法人 徳成会 評議員会設置
平成 14 年 4 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 10 名から 15 名に増員
平成 15 年 11 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 15 名から 20 名に増員
平成 18 年 4 月	介護予防事業（短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援） 開始（居宅介護支援は宇陀市地域包括支援センターより介護予防サービス 計画作成業務を委託される）
平成 20 年 5 月	訪問介護、及び介護予防訪問介護事業を廃止 デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 20 名から 25 名に増員
平成 20 年 12 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 25 名から 30 名に増員
平成 24 年 4 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 30 名から 20 名に減員
平成 24 年 7 月	理事長 森家 裕 退任 森家 誠 就任
平成 27 年 10 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事設計開始
平成 28 年 6 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事完成

II、概要

令和2年当初から中国からの新型コロナウイルスによる感染症が蔓延した。しばらくすると収束するのではとの期待もむなしく感染の拡大と減少を繰り返しており、約2年半経過した現時点でも未だに終息する気配はない。今年に入ってオミクロン株に変異し感染力が強くなり、ワクチンを3回接種したにもかかわらず感染する人が多発している。当施設関係者も複数人感染しており、在宅からの利用者との接触や学童からの家庭内感染が見られた。その人による濃厚接触により、用心の為デイサービスを1週間休んだ。濃厚接触による検査や消毒、予防備品の出費も一部補助はあるものの出費は増えている。宇陀市や奈良県からも指導や備品の補助、検査等の協力を頂いた。

衛生管理には最大限努力した。定期的にトイレやテーブル、手すり等の消毒を行い、施設内に入る人は体温の測定、手洗い、うがい等感染対策を徹底している。一人でも感染者が発生すればご利用者と職員、そのご家族も不幸である。元気な人でも感染している可能性があるので、無症状であっても人に感染させない様にしなければならない。職員には休日であっても外出時はマスクを着用し、三密になる様な店舗や満員電車等を利用しない様に指導している。朝晩体温を測定し、37.5℃以上であれば医療機関を受診。医師の指示によりPCR検査をする。陰性であっても熱が下がってから2日間自宅待機。職員のご家族が発熱した場合、PCR検査で陰性とわかるまで自宅待機とした。陽性の場合は保健所からの指示通りであるが早期発見が肝要である。又、マスクや消毒剤等の消耗品は最近手に入り易くなった。県や市からの配布は有難かった。新型コロナウイルス対策によるご利用者のご家族への面会の自粛から、2年半経とうとしている。ご利用者やご家族の気持ちを考えるとあまりにも長期間にわたる自粛は人道的に問題があると思われるので、密にならない様に予約制であるが、ご希望のご家族には地域交流ホームにガラス越しにお顔を見ながらお会いできる場所を設置した。感染者の動向を見ながら、出来ればボランティアの人にも来ていただける様にも考えていきたい。又、パソコンやスマートフォン等による遠隔対話もできる様に環境を整えている。食堂の換気扇も新しい空気を取り入れるものに増設した。長らくの自粛生活の中でもお年寄りのストレスが発散できる様に、屋外での食事や散策も心がけた。施設内行事は施設職員によるもののみとなったが、調理レクリエーション等、それなりに工夫して行った。ご利用者の健康状態は、新型コロナウイルスの対策で衛生管理を徹底した為か、冬場のノロウイルスやインフルエンザの感染は皆無であった。

職員の状況としては、平成30年度は認定特定行為業務従事者認定（省令別表第二号）研修（口腔内、鼻腔内、胃ろう腸ろう）の受講が無事終了し、以前に県知事認定の喀痰吸引のみ認められていた有資格者も含め、大多数の介護職員

が認定された。平成31年度（令和元年度）からは新しく入職した職員の受講と一部の介護福祉士未取得者の受験に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響で講習も受けにくくなっているが、今後時間が許す限り出来る範囲内で、OJT（職場内トレーニング）を含め、機会がある毎に資質向上に努め、介護の質を高め、ご利用者やご家族の要望に応えられる様に努力したい。しかしながら順調に推移していた施設運営において、令和元年度に入り、例年に無く多くの事が起こった。

12月に宇陀市のwebサイトに特別養護老人ホーム悠楽園で虐待の可能性がある旨の匿名の通報があった。宇陀市による調査の結果虐待に該当すると判断され、県と宇陀市による実地指導が行われた結果、改善計画を作成する事となった。安全ベルトの使用や身体を搔く人へのミトン使用、専門医への受診が遅い等が指摘された。事故を起したくないとの現場の思いが優先し、又、ご利用者への声掛けが子ども扱いの様な職員も居り、心理的にも虐待であると感じていた職員も居た。お互いに注意しあえる雰囲気や環境でなかった事が反省される。職員研修や施設内での3か月ごとの委員会の開催に加え、対象事例の検討を随時行った。しかしながら、身体拘束廃止に取り組んでいるさなか、令和2年に入り看護職と介護職による申送りミスにより向精神薬の誤与薬があった。痛恨の極みであったが、宇陀市の見解は「身体拘束」であると認定された。令和2年度は、精一杯身体拘束廃止に取り組んだが不本意な結果となった。令和3年度も職員間の連絡ミス防止や身体拘束適正化、事故防止、安全対策、人権擁護、虐待防止、感染症、食中毒防止、災害対策、事業継続計画、ハラスメント防止研修の計画を立て、機会の在る毎に研修と課題を出しての訓練に取り組んでいる。積年の驕りを取り除き、介護の基本に立ち返って一步一步確実に改善策に取り組みきたい。

令和3年度決算は昨年度に比べればやや改善されたが、新型コロナウイルス対策や事業の稼働率低下により感染拡大前の様には回復はしていない。今は目先の新型コロナウイルス対策の事で手一杯であるが、もう一度基本に帰り、ご利用者やご家族との視野の広い長続きする信頼関係を築いていく事を法人の目的としたい。

Ⅲ、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況

1、月別利用状況

(単位:人・%)

月	入園者数	退園者数		月初日現在 在園者数	延べ 利用日数	利用率	介護度					介護度 平均		
		死亡	その他の理由				要支援	1	2	3	4		5	
3				50										
4	0	1	0	48	1,401	93.4	0	0	0	10	24	14	4.08	
5	2	1	0	46	1,441	93.0	0	0	0	10	24	13	4.06	
6	2	0	0	48	1,461	97.4	0	0	0	11	24	14	4.06	
7	0	0	1	49	1,510	97.4	0	0	0	12	23	14	4.04	
8	0	0	0	49	1,516	97.8	0	0	0	12	22	14	4.04	
9	0	1	0	48	1,411	94.1	0	0	0	12	23	14	4.04	
10	2	1	0	49	1,509	97.4	0	0	0	13	23	14	4.02	
11	0	2	0	47	1,412	94.1	0	0	0	13	22	14	4.02	
12	0	0	0	47	1,457	94.0	0	0	0	13	21	13	4.00	
1	2	1	0	49	1,512	97.5	0	0	0	15	21	13	3.96	
2	0	1	0	49	1,353	96.6	0	0	0	15	21	13	3.96	
3	0	1	0	48	1,439	92.8	0	0	0	15	20	13	3.96	
年間	8	9	1		17,422	95.5							4.02	

令和3年度事業報告書

2、男女別要介護度の状況

(単位:人・度)

	男	女	合計
要介護度1	0	0	0
要介護度2	0	0	0
要介護度3	1	14	15
要介護度4	2	18	20
要介護度5	1	12	13
平均介護度	4.00	3.95	3.96

(令和4年3月31日現在)

3、年齢別状況

(単位:人・%)

	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	1	0	0	1	1	1	4	88.7
女	0	0	3	0	4	14	16	7	44	88.7
計	0	0	4	0	4	15	17	8	48	88.7
構成比	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	31.3	35.4	16.7	100.0	

(令和4年3月31日現在)

4、市町村別利用の状況

(令和4年3月31日現在)

(単位:人・%)

	前住所地	男	女	計	構成比
県 内	榛原	4	30	34	70.8
	菟田野	0	2	2	4.2
	大宇陀	0	3	3	6.2
	宇陀市 合計	4	35	39	81.2
	曾爾村	0	4	4	8.3
	御杖村	0	1	1	2.1
	奈良市	0	2	2	4.2
	桜井市	0	1	1	2.1
	橿原市	0	1	1	2.1
	小 計	4	44	48	100

(単位:人・%)

	前住所地	男	女	計	構成比
県 外		0	0	0	0.0
	小 計	0	0	0	0.0

5、入院、退院の状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	女	2	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	7
	計	2	1	0	1	1	1	2	0	0	0	1	0	9
退院	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	女	1	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	7
	計	1	1	0	2	0	0	2	2	0	0	0	1	9

6、面会の状況

令和3年度個人別面会回数(短期入所生活介護を含む)

(単位:回・人)

回数	0	1	2~5	6~10	11~15	16~20	21~30	31~40	41~
人数	42	7	17	15	3	3	3	0	1

主な面会者と利用者との関係(短期入所生活介護を含む) (単位:回)

続柄	配偶者	子供	兄弟	親族	その他	総回数
回数	15	341	13	22	5	396

7、日課

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0		
毎日				定時おむつ交換・トイレ案内	体調不良者検温・血圧測定 巡視		起床・更衣・離床介助	お茶交換	着替え・洗面介助・朝食準備 うがい・口腔ケア	義歯洗浄 朝食介助・与薬・下膳	朝礼・申し継ぎ・ラジオ体操	臥床介助 陰部洗浄・定時おむつ交換	水分補給 離床介助・トイレ案内	屋食準備 口腔体操	臥床介助 屋食介助・与薬・下膳	うがい・口腔ケア・義歯洗浄	定時オムツ交換・トイレ案内 ※陰部洗浄	おやつ ※は午前中行事があった場合	水分補給 洗濯物集配 お茶交換	夜勤者との申し継ぎ、夕食準備	下膳・うがい・口腔ケア	着替え・義歯洗浄・臥床介助	体調不良者検温・血圧測定 定時おむつ交換・トイレ案内	水分補給、与薬	巡視、消灯	定時おむつ交換・トイレ案内、 水分補給	体調不良者検温・血圧測定 巡視
平日（日曜含む）										清掃・トイレ掃除	洗濯物集配・処理	リネン整理・行事	リハビリ		義歯洗浄 行事												
シーツ交換日										清掃・トイレ掃除	洗濯物集配・処理	シーツ交換	リハビリ		行事 清掃												
入浴日										清掃	洗濯物集配・処理	ベッドメイキング	リハビリ 機械浴 又は一般浴・リフト浴		機械浴 又は一般浴・リフト浴												

注:おむつ交換・トイレ案内と清拭は定時以外に必要なに応じ随時

8、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
4月	歯科Dr来園(毎月) 本館清掃(毎日、土日以外) 自動ドア点検 血液検査 スペーシア、アトレー車検 シエンタ点検 WAX1F	喫茶店(毎月) 誕生日会(毎月) 散髪(毎月)	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	(毎月)給食会議 (随時)介護職会議、職員会議、新任研修会議、入所判定会議 (3月毎)身体拘束等適正化委員会会議 人権擁護・虐待防止委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議 感染症・食中毒対策委員会会議 災害対策委員会会議 (年1回以上)個人情報保護委員会会議 (年2回以上)各委員会の研修
5月	毎月行事 エレベーター、ボイラー点検 NTTアンテナ点検 食洗機点検 ダンボール回収 WAX2F	毎月行事 開園記念 母の日	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 人権擁護・虐待防止委員会会議、研修 事故防止・安全対策委員会会議、研修 ハラスメント研修防止研修
6月	毎月行事 消防機器点検 関西電力点検 メイスイ浄化器交換 コロナワクチン接種(1・2回) オープン修理(フジマック) 発電機バッテリー交換	毎月行事 父の日	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 宇陀市立病院意見交換会 身体拘束適正化委員会会議 人権擁護・虐待防止委員会会議、研修 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議 感染症対策委員会会議 災害対策委員会会議 ハラスメント研修
7月	毎月行事 軽トラック車検 消防立入り検査 WAX2F	毎月行事 七夕まつり 冬布団引き取り 夏布団納入	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 入所判定会議 人権擁護・虐待防止委員会会議

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
8月	毎月行事 自動ドア点検 ムーブオイル交換	毎月行事 花火大会	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 事故防止・安全対策委員会会議 災害対策委員会会議 口腔衛生管理の研修(水谷先生)
9月	毎月行事 ボイラー点検 厨房機器点検 WAX1F・2F 監査指導	毎月行事 敬老会	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 入所判定会議 身体拘束適正化委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議 感染症対策委員会会議 災害対策委員会会議、災害BCP訓練研修
10月	毎月行事 消防訓練 厨房機器点検 設備点検(榎谷設計) オープン修理(フジマック) WAX1F 衆議院議員総選挙 期日前投票	毎月行事 夏布団引上げ 冬布団納入 バーベキュー大会	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 身体拘束適正化委員会会議、研修 人権擁護・虐待防止委員会会議 感染症対策委員会会議、感染BCP研修 災害対策委員会会議 経口維持会議 交通安全に係る研修 宇陀けあネットzoom研修
11月	毎月行事 交流ホーム間仕切り工事 デイ風呂場蛍光灯工事 エレベーター・自動ドア点検 シエンタ点検 食洗機洗剤の点検 きんでんメーター取替え 健康診断、コロナ唾液検査 インフルエンザ予防接種 WAX2F ダンボール回収 会計監査	毎月行事	毎月行事 新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 入所判定会議 人権擁護・虐待防止委員会会議 災害対策委員会会議 コロナワクチン接種説明会(熊田内科) ライフソフト説明会
12月	毎月行事 消防訓練、消防機器点検 WAX1F ムーヴ車検 タイヤ交換 汚泥引き上げ コンダクトソフト入替え	毎月行事 クリスマス会 餅つき大会 門松作成	毎月行事 新型コロナウイルス感染再流行のため ボランティア中止	毎月会議 宇陀市立病院意見交換会 人権擁護・虐待防止委員会会議 事故防止・安全対策委員会会議 褥瘡対策委員会会議、研修 感染症対策委員会会議 災害対策委員会会議 パピルスソフト説明会

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
1月	毎月行事 斜面工事開始(松塚建設) ボイラー点検 WAX2F	毎月行事 お正月祝い膳 門松撤去	毎月行事 新型コロナウイルス感染再流行のため ボランティア中止	毎月会議 身体拘束適正化委員会会議 人権擁護・虐待防止委員会会議 コロナに関する外部研修
2月	毎月行事 ダンボール、衣類回収 エレベータ点検 洗濯機、配膳車修理 浄化槽点検 WAX1F コロナワクチン接種(3回目)	毎月行事 節分	毎月行事 新型コロナウイルス感染再流行のため ボランティア中止	毎月会議(コロナの為、中止) 各委員会会議、研修(コロナの為、中止)
3月	毎月行事 食洗機点検 タイヤ交換 ムーヴオイル交換 WAX2F	毎月行事 ひなまつり	毎月行事 新型コロナウイルス感染再流行のため ボランティア中止 介護支援専門員執務研修受入れ(1名)	毎月会議 入所判定会議 人権擁護・虐待防止委員会会議、研修 事故防止・安全対策委員会会議、研修 褥瘡対策委員会会議、研修 感染症対策委員会会議 災害対策委員会会議 身体拘束適正化研修 個人情報保護委員会立ち上げ
<p>他に毎月又は、随時実施するもの</p> <p>◎ 買物、ミニ喫茶</p> <p>クラブ活動として</p> <p>◎ 音楽クラブ(歌唱、カラオケ等) 戸外散策、習字クラブ、レクリエーションクラブ、貼り絵、ぬり絵等</p> <p>水質検査 - 大和环境センター</p> <p>浄化槽点検 - 宇陀環境開発(株)</p> <p>エレベーター点検 - 日立エレベーター(株)</p> <p>ワックス掛け - ビーワーク</p>				

9、給食の状況、栄養管理の状況

1. 委託給食会社について

食材の仕入れは（株）タクサンに継続して委託している。今年度は特に配送間違いや配送忘れの食材が多かったが、毎日の検品にて必要数や重量の確認を行うことにより問題なく対処できている。

2. 衛生管理

水質・害虫検査は例年通り実施している。監査指導にて害虫検査の回数を増やすよう指摘あり、業者依頼分とは別に施設独自で害虫の発生を確認することとし各種捕獲機の設置と発生状況の確認を適宜行っている。

食中毒や感染症等の一般衛生管理は継続して実施しており、院内感染発生時や感染の可能性がある場合には使用食器の消毒と食器の返却口を分けて対応を行った。新型コロナウイルス感染症発症者はデイサービスの利用者と職員で4名発生したが、特養利用者への感染はなく収束している。食中毒の発生件数は0であった。

3. 食事内容について

給食会議では、行事食、調理レクリエーションの充実を図った。また食事に関する意見交換の場として機能しており、食事形態や提供方法等問題点の検討・改善を行った。今後も利用者個人に合った食事が迅速に提供できるように他職種との連携に努めていきたい。

日々の残食記録と嗜好調査の結果を考慮し、意見の多かったものは委託会社と連携して献立作成に反映している。

食事形態は各利用者様の摂食機能に合わせられるように普通食・一口大食・刻み食・ソフト食・ミキサー食の5種で展開していたが、より高度の嚥下障害のある利用者様に対応するためゼリー食の導入を行った。

（特養）

形態	普通食	一口大食	刻み食	ソフト食	ミキサー食	ゼリー食	合計
人数	6名	10名	12名	5名	9名	3名	45名

※補助食品のみ提供1名、経腸栄養3名は除く。

(生活支援ハウス)

形態	普通食	一口大食	刻み食	ソフト食	ミキサー食	ゼリー食	合計
人数	4名	0名	0名	0名	0名	0名	4名

4. 個別対応食の状況

種類	内容	特養	支援	状況
		人数		
ソフト食	普通食を細かく刻みトロミ粉を使用しムース状で提供する。	5	0	食材をフードプロセッサーで粉碎し、材料の1/2量の出汁を加えトロミ粉を使用し飲み込みやすく加工する。咀嚼は問題なく行えるが嚥下機能が低下した方を対象として提供している。
ミキサー食	普通食をミキサーにかけトロミ粉を使用しペースト状で提供する。	9	0	食材と同量の出汁を加えミキサーにかけトロミ粉を使用し飲み込みやすく加工する。咀嚼・嚥下機能ともに低下した方を対象に提供している。
ゼリー食	普通食をミキサーにかけ80℃以上に加熱し、ゼリー粉で固めて提供する。	3	0	
アレルギー食	アレルギーになる食材の除去、代替食での提供。	2	1	現在対応中のアレルギーは海老、蟹、ナッツ類、鯖、カレー粉。
嗜好対応	嗜好や体調に合わせて代替品の提供	34	3	朝食のパン、飲み物は希望のものを提供している。本人様より希望があれば主・副食の形態変更も可能。
エネルギー制限食	体重過多の場合に減量対応で食事提供。	5	0	適正体重を目標に主食・副食量を調整している。

療養食	心臓病食 腎臓病食 糖尿病食	5	0	常食を基本としエネルギーや特定の栄養素の制限を行う。 内訳：心臓病食（3名）、腎臓病食（1名）、糖尿病食（1名）
-----	----------------------	---	---	---

5. 食事サービスの充実

毎月1日に季節のおこわと天ぷらのお楽しみメニュー、年3回（正月・開園記念日・敬老の日）松花堂弁当の提供、季節の行事に合わせたメニューの提供・レクリエーションを実施した。

新型コロナウイルス感染予防のため面会や外出の制限があり、施設内での楽しみを増やしてもらうため調理レクリエーションを多く実施した。

飛沫予防のためマスクの着用や手指消毒、密にならないよう席の配置にも配慮しレクリエーションを行っている。

	季節のメニュー	レクリエーション	
		特養	デイ
4月	竹の子の五目おこわ	桜もち/クレープ	ワッフル/たこ焼き
5月	開園記念日祝い膳	抹茶どら焼き/フレンチトースト	餃子
6月		白玉ぜんざい/アイスクリームバイキング	紅茶パウンドケーキ/白玉フルーツポンチ
7月	七夕そうめん、うな井	スイカ割り/そうめんパーティ	お好み焼き/ホットケーキ
8月	冷やし中華	かき氷/花火大会	そうめんパーティ/夏祭り
9月	さつま芋ご飯、敬老の日祝い膳	栗あんどら焼き/おはぎ	おはぎ
10月	栗ご飯、ハロウィンコロケ	バーベキュー/餃子	バーベキュー/スイートポテト
11月		黒豆蒸しパン/ラーメン	ワッフル/餃子
12月	クリスマスメニュー、年越しそば	さつま芋おやき/クリスマスケーキ/餅つき	カレー（収穫した野菜を使用）/いももち/餅つき
1月	正月祝い膳、七草がゆ	おはぎ/ぜんざい	デコレーションケーキ/白玉ぜんざい
2月	散らし寿司、鰯の甘露煮	チョコレートフォンデュ/ロールケーキ	チョコブラウニー/お好み焼き

3月	散らし寿司、白桃ムース	抹茶どら焼き/ぼたもち	ポテトサラダ（収穫した野菜を使用）
----	-------------	-------------	-------------------

6. 栄養管理の状況

R3年4月の介護報酬改定により栄養ケアマネジメントの取組を一層強化する観点から、「栄養マネジメント加算」を基本サービスに組み込み、栄養ケアを包括的に評価する「栄養マネジメント強化加算」が新設された。当施設でもR3年5月分より栄養マネジメント強化加算を算定しており、低栄養状態のリスクが高い利用者に対しては、医師、管理栄養士、看護師などが共同して作成した栄養ケア計画に従って、食事の観察（ミールラウンド）、利用者ごとの栄養状態、嗜好などを踏まえた食事の調整などを実施している。

さらに、利用者ごとの栄養状態などのデータをLIFE（厚生労働省）に提出している。提出したデータは全国統計がとられ現時点では他の事業所の運営状況や利用者の内訳を比較するのみで、個々の利用者に対して科学的介護をおこなえる内容には至っていない。今後施設単位や利用者ごとのフィードバックが順次公開される予定になっているため、効率的にマネジメントに利用していきたい。

低栄養リスク判定	低リスク	中リスク	高リスク
令和3年3月末	23名（48%）	23名（48%）	2名（4%）
令和4年3月末	16名（33%）	26名（54%）	6名（13%）

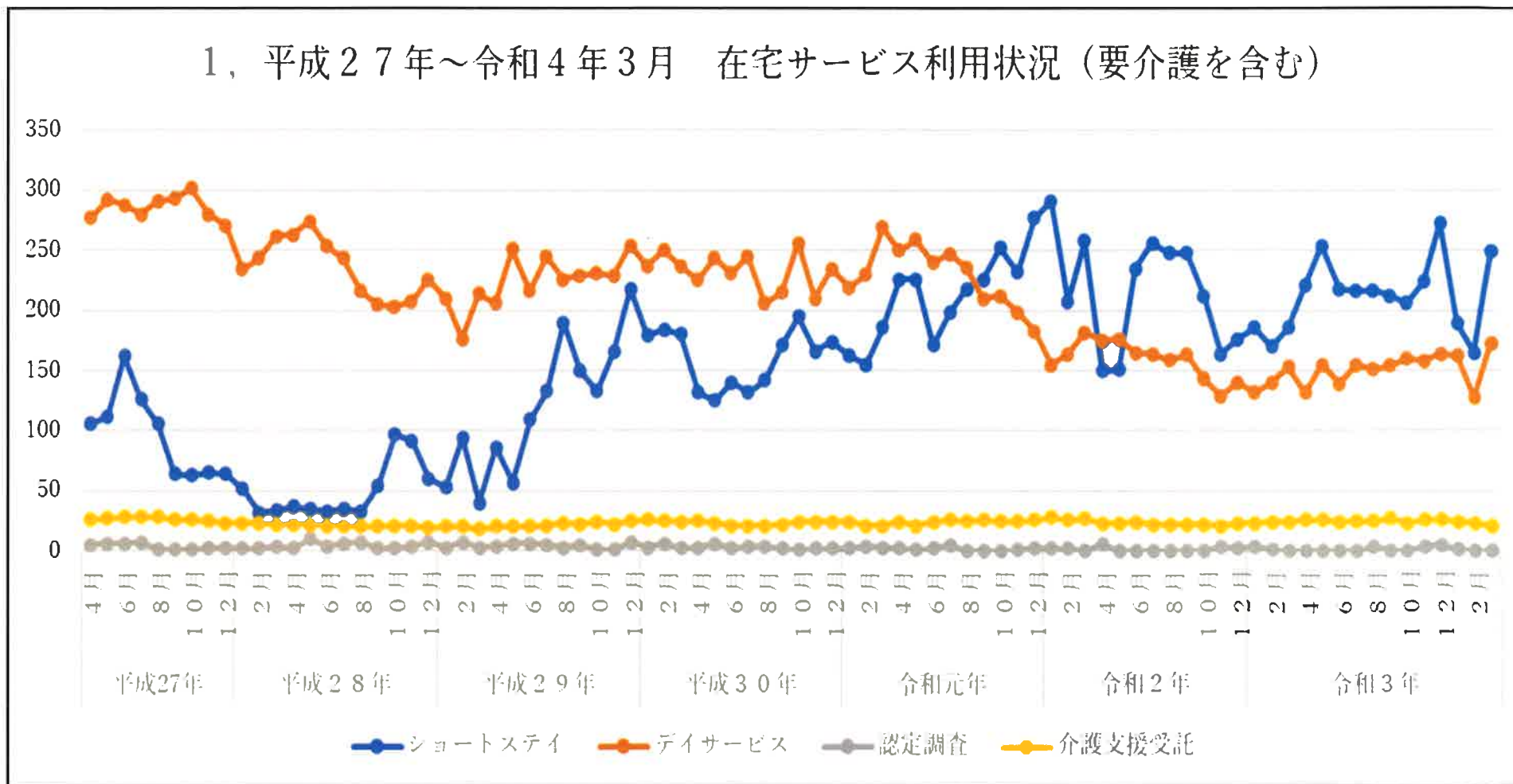
昨年度と比較すると高リスクの利用者が増えている。リスク判定はBMI、体重減少率、血中アルブミン値、食事摂取量、褥瘡の有無から判断するが、高リスクの利用者は病状の悪化により食事摂取が困難になり体重減少や褥瘡が発生した方がほとんどである。食事が思うように取れない方の対応については本人やご家族の方の意思を尊重し、嗜好品の提供や食品の持ち込みを依頼する等できる限り個別対応を行い、精神的・身体的苦痛を軽減するよう無理のない食事提供を行っている。

低・中リスクの利用者に対しては毎月のモニタリングでこまかな観察を行い、引き続き良い状態で過ごしていただけるよう努めていきたい。

デイサービスでは、介護職員等による口腔スクリーニングの実施を新たに行っており（口腔・栄養スクリーニング加算）、利用開始時と以降6ヵ月ごとに、利用者の口腔の健康状態や栄養状態について確認し、情報をケアマネジャーに提供している。

IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス

(単位：人)



2、短期入所生活介護

1)短期入所生活介護利用状況(市町村別) (単位:人)

市町村	男	女	利用者数
榛原	3	10	13
室生	1	0	1
大宇陀	0	1	1
菟田野	0	3	3
宇陀市	4	14	18
御杖村	0	2	2
曾爾村	0	3	3
奈良市	0	1	1
橿原市	0	1	1
桜井市	0	1	1
吉野郡	0	0	0
県外	0	0	0
合計	4	22	26

2)短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別) (単位:人)

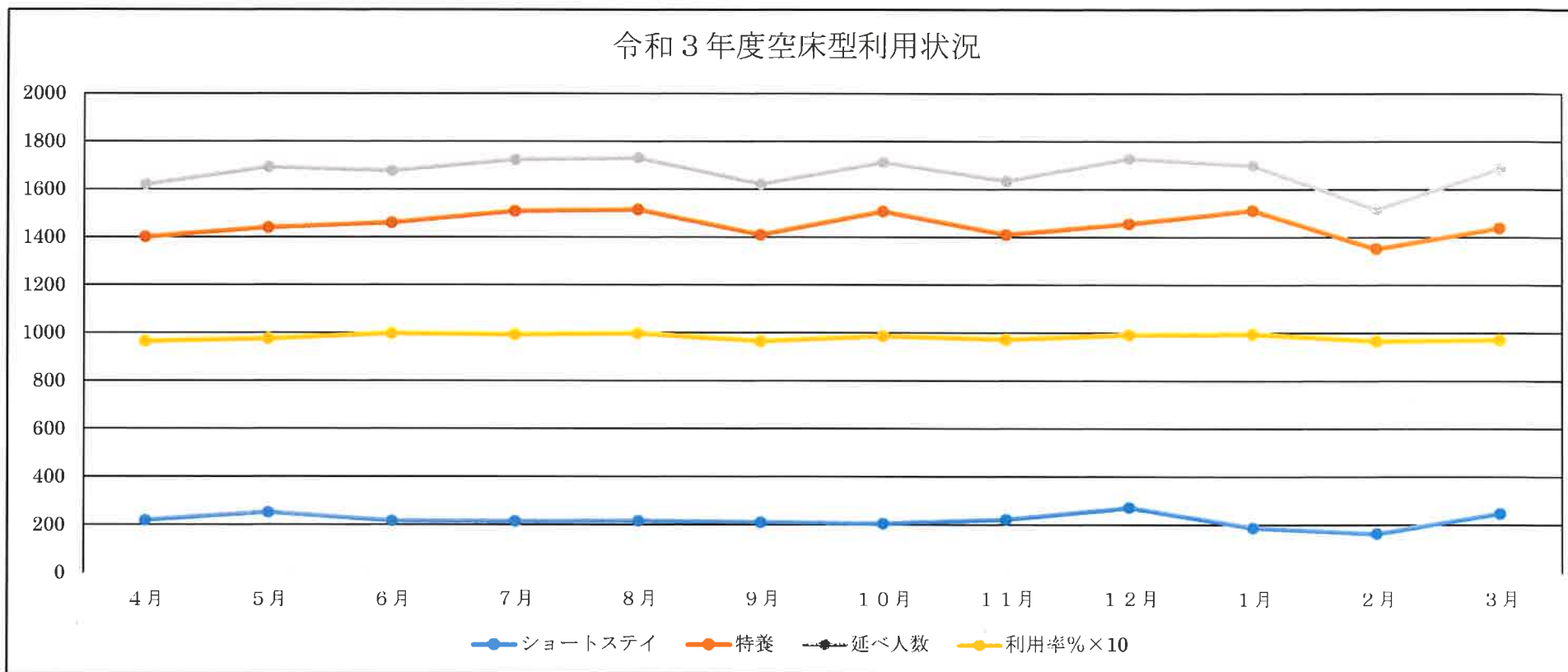
月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	1	2	3	1	2	9
5	0	0	1	2	3	2	2	10
6	0	0	1	4	1	2	1	9
7	0	0	1	3	1	2	1	8
8	0	0	1	2	1	2	1	7
9	0	1	1	2	1	4	1	10
10	0	0	1	1	0	4	1	7
11	0	0	1	1	0	4	2	8
12	0	0	1	1	1	5	2	10
1	0	0	0	2	2	2	2	8
2	0	1	0	3	2	1	1	8
3	0	0	2	3	3	1	2	11
計	0	2	11	26	18	30	18	105

3)短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別) (単位:人)

月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	30	60	68	30	33	221
5	0	0	31	62	75	39	47	254
6	0	0	30	89	9	60	30	218
7	0	0	31	66	26	62	31	216
8	0	0	31	62	31	62	31	217
9	0	2	30	43	30	77	30	212
10	0	0	31	31	0	113	31	206
11	0	0	30	30	0	120	44	224
12	0	0	31	31	22	127	62	273
1	0	0	0	62	32	62	33	189
2	0	6	0	57	46	28	28	165
3	0	0	21	68	75	31	54	249
計	0	8	296	661	414	811	454	2,644

3、令和3年度空床型特養の利用状況

(単位：人)



考察

黄線が利用率を表している。年度初、年度末以外は、ほぼ満床の状態が続いている。

4、通所介護

1) 通所介護利用状況(市町村別)

市町村	利用者数(人)		
	男	女	合計
榛原	5	15	20
室生	0	0	0
大宇陀	0	0	0
御杖村	0	0	0
合計	5	15	20

2) 通所介護月別利用者数(要介護度別)

(単位:人)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	4	3	5	1	1	0	14
5	0	0	4	3	5	2	0	0	14
6	0	0	4	3	5	2	0	0	14
7	0	0	4	3	6	2	0	0	15
8	0	0	4	3	6	2	0	0	15
9	0	0	4	4	6	2	0	0	16
10	0	0	4	4	5	2	0	0	15
11	0	0	4	4	5	1	0	0	14
12	0	0	5	4	5	2	0	0	16
1	0	0	6	4	4	2	0	0	16
2	0	0	6	4	4	2	0	1	17
3	0	0	5	4	3	2	0	1	15
計	0	0	54	43	59	22	1	2	181

3) 通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)

(単位:人)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	0	45	33	36	13	5	0	132
5	0	0	48	45	42	20	0	0	155
6	0	0	41	43	41	14	0	0	139
7	0	0	42	43	55	15	0	0	155
8	0	0	39	42	55	15	0	0	151
9	0	0	22	60	58	14	0	0	154
10	0	0	27	60	54	19	0	0	160
11	0	0	27	68	50	13	0	0	158
12	0	0	35	66	47	16	0	0	164
1	0	0	47	60	40	15	0	0	162
2	0	0	37	51	27	11	0	1	127
3	0	0	40	65	41	15	0	12	173
計	0	0	450	636	546	180	5	13	1,830

4) 通所介護日課表(標準的な場合)

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
迎 え	看護師による 体調 チェック 荷物 整理	入 浴 非入浴の利用者は、介護計画に 基づく個別行動 (手芸等のミニレクリエーション、 コミュニケーション、及び水分補給)					食事前 の 体 操	食事の準備 食 喫 事 茶	休養時間 個別リハビリ、 コミュニケーション 等	レクリエーション 不参加の利用者は、 介護計画に基づく 個別行動 (手芸・絵画等のクラ ブ活動や、個別リハ ビリ)				おやつ	カラオケ等	送 り	
※ あくまでも標準的な場合であり、通所介護計画や本人の体調、希望により時間的に変化する。																	

5) 年間行事

4月	ワッフル作り たこ焼きパーティー 兜飾りつけ 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 お花見	7月	七夕飾り付け・短冊作り お好み焼き作り ホットケーキ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 すいか割り	10月	バーベキュー大会 スイートポテト作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	1月	書初め・絵馬作り カルタ・福笑い・すごろく バースデイケーキ作り 鏡開き 白玉ぜんざい作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会
5月	開園記念日 カップケーキ作り ギョーザ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	8月	そうめんパーティー 夏祭り うちわ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	11月	ワッフル作り 餃子作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 壁面飾り作り じゃが芋掘り トウモロコシ収穫	2月	鬼退治 ひな飾り チョコブラウニー作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会
6月	七夕飾り作り 紅茶パウンドケーキ作り 白玉フルーツポンチ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	9月	敬老のお祝い カラフル白玉作り おはぎ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会	12月	クリスマスツリー飾り付け クリスマス会 カレーパーティー いももち作り お餅つき 門松 鍼灸マッサージ 喫茶店・誕生日会	3月	ひな祭り お好み焼き作り ポテトサラダ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店 誕生日会 じゃが芋植え

※ クラブ活動は、手芸、貼り絵、カラオケ、料理、園芸等。
機能訓練やレクリエーションは、平行棒による歩行訓練、輪投げ、ゴルフゲーム、ボールしりとり、テーブルカーリング等。

5、居宅介護支援事業

現在1名の主任ケアマネージャーで居宅介護支援事業を行っている。施設が24時間、365日の営業体制であるため、時間外のオンコール対応や緊急事態に対する対応もあったが、以前に比べると比較的落ち着いてきている。

緊急時には、短期入所の利用で対応できるため事なきを得ているが、その事が単独の居宅介護事業所にはない強みであると認識し、今後の事業展開に生かせるものとする。種々のサービスにアプローチするケアマネージャーとして他の事業所との差別化を図るべく努力を重ねている。

ご利用者の入退院時にはご家族を交えて病院とのカンファレンスを行い、連携をとっている。しかしながら、利用者宅でカンファレンスを行った結果、病院関係者と利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性であった為、当施設職員は濃厚接触者として在宅勤務となり対応に苦労した。本年度も、新型コロナウイルスが全国的に蔓延し、感染予防の対策に追われた。ご利用者の中には、来訪を嫌われる方もおられ、電話での対応とした。

月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定調査	0	0	0	0	4	0	0	4	5	1	0	0
要介護支援	18	18	16	17	17	20	15	18	18	16	15	14
予防介護支援	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	7
介護支援総計	26	26	24	25	25	27	23	26	26	24	23	21

内、入退院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
退院	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0

6、給食サービス

給食サービスは平成8年に宇陀市から委託を受け、おもに高齢者などを対象に、味付け、栄養バランスなどに配慮した調理済みの食事を自宅にお届けするサービスである。食事を配達するだけでなく、高齢者の安否確認を行う役割が大きいいため手渡しでの受け取りを原則とし、顔の見える関係作りに取り組んでいる。

当施設の方針としては、家庭的で食べやすく栄養バランスのとれた料理を目指して献立作成をしている。また、傷みやすい食材を除いたり、季節に合わせた献立を作成するように心掛けている。サービスを利用されている高齢者にも料理が大変好評で、喜んでいただいている。

利用者数は令和3年度3月現在で5件。毎週木曜日の夕食分の弁当配達を行っている。新規利用申請は少なく、デイサービスの利用や施設入所される方、入院される方が増えてきており利用者数は年々減少傾向にある。

最近では民間の弁当配達業者も増えており、毎日毎食分、希望の日時に配達してほしいという需要が多いように感じる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用 食数	25	20	20	25	20	25	27	24	31	25	22	32	296

(単位：食)

7、生活支援ハウス

1) 利用状況

(単位:人)

	令和3年										令和4年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入所者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	
退園者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
利用者総数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	

2) 年間行事

お花見
七夕飾り
クリスマス会
餅つき
馬見丘陵公園 チューリップ祭り

コロナワクチン接種
インフルエンザ予防接種
家庭菜園(じゃがいも、とうもろこし)
収穫物による調理レクリエーション

※ その他、特別養護老人ホーム、通所介護部門でのクラブ活動や行事に参加。

3) 建物、設備の保守、修理

生活支援ハウスを新築してから約19年経過した。設備は随時保守点検、修理してきたが、部品の供給も難しくなっている設備も有る。ボイラーや業務用エアコンは出来るだけ修理する様にしているが、家庭用設備の部品がなく本体ごと交換せざるを得ない状況となっている。建物は毎年点検し大きな指摘事項は無いが、大規模な修理となる前に、屋根や外壁の塗装等やメンテナンスの時期を検討したい。

V、令和3年度実施事業

1、エアコンの更新

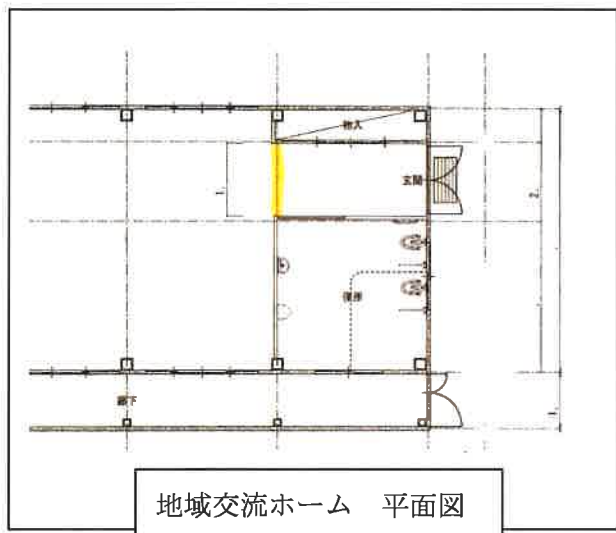
令和3年10月	本館1階居室	125,620円
令和3年11月	スタッフルーム	176,000円
令和4年2月	園長室	439,120円

2、交流ホーム間仕切り工事

令和3年度奈良県地域密着型サービス施設等整備促進事業補助金を受け、介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止事業として、施設利用者と面会者との感染予防の為、地域交流ホームの入り口部分の間仕切りを行った。

令和3年11月6日施工

事業総額 352,000円



3、南側浄化槽下法面崩落の復旧工事

1,500,000 円

令和3年12月14日、草刈り業者が施設敷地内南側の浄化槽横の法面が崩落しているのを発見。浄化槽の排水が法面を流れ続けているので、直ちに応急の配管工事を行う。原因は特養施設建物の雨水の排水管、もしくは浄化槽の排水管が何らかの原因ではずれ、徐々に土砂が流され周りの配管を引きずり込んだものと考えられる。気付くのが遅く、かなりの広範囲となっていたが、必要な部分である浄化槽の基礎部分と配管の復旧、補強を行った。

令和4年1月11日着工、令和4年2月18日竣工。

復旧前



復旧後



4, 一昨年来計画を進めてもらっている悠楽園敷地上方に位置する砂防堰堤設置工事は、令和3年度事業として工事の際に必要な管理用道路設計に伴う地質調査が行われた。

- ① 調査期間 令和3年10月中旬～令和3年11月中旬
- ② 調査場所 奈良県宇陀市榛原檜牧
- ③ 作業内容 砂防堰堤の管理用道路設計に伴う地質調査（ボーリング調査）作業
- ④ 調査会社 株式会社ヨシノコンサルサント
- ⑤ 発注者 奈良県宇陀土木事務所

位置図



VI、新型コロナウイルス感染症に関して

令和2年、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めてから出来る限りの感染予防に取り組んできた。しかしながら令和4年2月に初めて施設関係者に陽性者が発生した。

2月15日、病院から退院直後のデイサービス利用予定者の自宅で当デイ職員とケアマネが事前面接した後、翌日に悠楽園デイサービスセンターを利用した。

2月17日に病院の医師と看護師が利用者宅に往診し、その場に当デイ職員とケアマネが立ち会う。その日、病院関係者に体調不良者が出る。

2月20日に病院関係者の陽性が判明し、その利用者も陽性と判明。急遽面接に行った当施設の職員2名も検査するとデイ職員が陽性と判明した。すでにデイサービスを利用しており、職員間もマスクはしているものの、保健所の判断ではケアマネも濃厚接触扱いとされた。用心の為、デイサービスは2月21日から7日間、2月27日まで休業とし、陽性となった職員と同じ空間で仕事をしていた事務所を隔離した。この間、濃厚接触を疑われる者には抗原検査を行ったが、全員陰性であった。しかし、抗原検査では精度が悪いとの事でPCR検査を求められたが、全国的に検査キットが無く、嘱託医や医療業者に尽力いただき、10名分のキットを揃えてもらった。濃厚接触の場合検査費用は事業者負担となるが、1名につき1万数千円必要とした。結果が判明するのも検体を出してから4日間かかり、抗原検査で陰性であった職員1名が陽性となった。自宅待機していたので、事なきを得た。デイサービスは休業しており、陽性者と同じ日に利用した人は、互いに離れた場所で居たこともあり体調不良を訴える人は居なかった。当施設としては初めてのケースであったが、保健所、県、市の関係者の皆様方には大変お世話になった。各部署とも忙しくされており、特に保健所との連絡は時間を要した。今回のオミクロン株は感染力が強く、ほとんどの人がワクチンを3回打っているが陽性となっている。引き続き、感染予防に取り組んでいきたい。